

はじめに

本年4月、「帯広市・中札内村合併協議会」が設置され、9月26日まで協議が進められてきました。6月には合併について村民の意思を問う「住民投票条例」が制定され、11月には実施される予定となっています。

一方、村民が自立・合併の選択を判断するための情報提供が必要であるとして、まちづくりの目指すべき姿や方策、行財政改革の推進事項を検討するため、5月に「自立の中札内村推進検討委員会」が設置されたわけです。

「右肩上がり」があたりまえの時代が終わり、国・地方とも非常に厳しい財政状況となっていることに加え、いわゆる「三位一体の改革」により見直しが進められている国庫補助負担金・地方交付税・地方への税源移譲の行方がどうなるのか、先の見えない状況の中で、財源の減少や少子高齢化の進行などを想定しながら、行政サービスと住民負担の今後の方向などを検討してまいりました。また、中札内村のもつ優れた環境や特性を活かして、今以上に「住みたいまち」をつくるため、何を大事にしていくか、重点にするかという論議も行いこの報告書をまとめました。

このたびの委員会での論議を通じて、村民がもっと主体的に地域の自治や地域活動に関わる必要性を感じましたし、また、行政と住民・団体の役割分担の方向も見えてきました。

そして、住民・地域・団体・行政がいっしょになって一つの方向に向かって努力すれば、『自立することは可能』です。

村の自立は、住民や団体の自立がなければ成し得ません。村の職員数や経費の削減に伴うサービスの低下や負担の増加も想定されますが、村民生活に大きな影響を及ぼさないためにどのような方法でこれからの自治を行っていくか、村民の知恵と力の出しどころです。

帯広市と合併するのか、いまは合併せずにこれまでどおり中札内村として生きていくのか、村民のみなさまの判断材料の一つになれば幸いです。

自立の中札内村推進検討委員会
会 長 道 見 盛 雄